

第1回耳鼻咽喉科感染症研究会開催にあたって

名古屋市立大学教授 高 須 照 男

第1回耳鼻咽喉科感染症研究会を開催するに当たりまして、一応この会が発足するまでの経過を簡単に申述べたいと存じます。

耳鼻咽喉科領域で、このような研究会をもちたいという声は以前からございました——と申しますのは、耳鼻咽喉科の感染症は他科の感染症と違いまして、化学療法立場からみて、解剖学的に特殊性があるということでもあります。そこで全国的に化学療法を主として取り上げて研究を行なっている諸施設に呼びかけ、1971年7月末に世話人会を開催したのであります。そこでいろいろと感染症の定義や内容などが討議されたのであります。一応現段階では細菌感染に焦点を絞って、本研究会を発足させることになったのであります。また本会の運営に当たり、その中心となる幹事の選

出を併せ行ない、第1回幹事会を8月21日に開催し、いろいろとスケジュールを検討した結果がこのような会の次第となつたわけでありまして。

今回の特別講演につきましては、東邦大学微生物学教室の桑原章吾教授*および名古屋市立大学第1外科の柴田清人教授におねがいしましたところ、心よくお引受けいただき、この会に錦上添花をそえることが出来ましたことを非常にうれしく思うと同時に両教授に厚くお礼申し上げます。一般演題は「耳鼻咽喉科領域における化学療法の特殊性」というテーマで募集いたしましたところ、非常に興味ある演題をいただきました。厚くお礼上げるとともに、今後とも本研究会の発展のために御協力賜りますようお願い申し上げ、御挨拶の言葉といたします。

* 耳鼻咽喉科領域の感染症の特殊性——慢性中耳炎を中心として、本誌18巻4号、221～226頁、1972年7月に掲載済み。